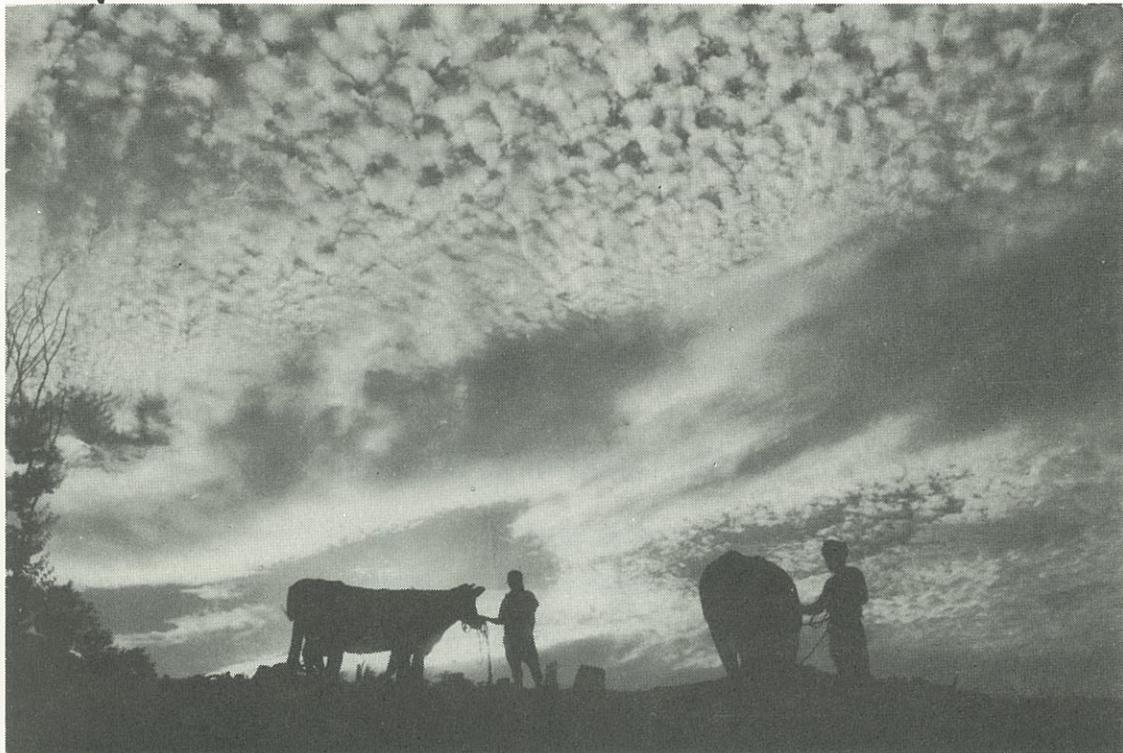


# 岩手郡医報

昭和61年7月 No.20  
編集／発行  
岩手郡医師会



うろこ雲—平庭高原にて

10数年前の写真で恐縮ですが、平庭に撮影に出かけ帰りがけに写しました。スモッグの影響か、田舎でもこのような見事な雲は滅多に見られず、私も後にも先にも初めてです。近くに牛を連れた牛飼い（ベコまぶり）がいたので、添景として入って貰いました。幸運にも赤外フィルムが入っていたので意図通りに写せましたが、20~24mmの広角レンズを用意していなかったことが悔やまれます。超広角系のレンズを使用したらもっと迫力のある雄大な写真になったことでしょう。うろこ雲（巻積雲）は5~13Kの高空に発生する雲で多くは巻雲を伴っています。次回は是非カラーで写そうと思ってますが、まだチャンスに恵まれず残念です。

撮影 近藤 純造

## 会長新任挨拶

岩手郡医師会長 宮 杜 亨

この度、上野会長のあとを引き継ぎ、岩手郡医師会長をお引き受け致しました。

もとより、浅学非才の身でありますから、有能な近藤、上田、高橋(牧)副会長にささえられ、又役員諸先生に御援助を頂き、きびしい医療情勢に対処してまいるつもりで居りますので会員諸先生方の一層の御指導、御鞭撻をお願い致します。

61年度の事業計画、及び予算は既に3月22日の総会で御決定を受けて居りますので、この路線を継承して参ります。

よろしく御協力の程お願い致します。



## 昭和61年度事業計画書

医療経営のきびしい現況のなかで地域の保健と医療に尽力すべく会員の融和を深め、団結を強固にし互に切磋琢磨、医学医術の向上を促進し、人間味豊かな学術団体としての発展を期す。次の事項を重点事業として行う。

1. 岩手県医師会事業えの全面的協力。
  - (1) 特に政治力強化の為、医師連盟に対し強力なるバックアップをする。
  - (2) 医学総会 医学会えの参加。
2. 地域医療保健事業の推進。
  - (1) 学校保健

イ 小一、中一、高一の循環器検診(継続)

- ロ 養護教諭との学校保健懇談会開催(継続)。
- バ 貧血検診推進(新規)。
- (2) 老人保健法ヘルス事業えの対応。
- (3) 健康教育
- 3. 関係地方行政機関との緊密化を推進。
- 4. 災害救急医療体制作り。
- 5. 産業医活動の充実。
  - (1) 有機溶剤取扱者の検診。
  - (2) メンタルヘルスケアーえの対応。
  - (3) 産業医講習会、見学会えの参加。

## 行 事 関 係 報 告

### 事務局だより

- 昭和61年4月1日 県医会長より。  
昭和61年度県医師会費についての照会あり、検討の上提出。
  - 昭和61年4月4日 県医会長より。  
老人診療報酬点数表の一部改正等の運用についての通知あり。これについては、いわて医報6月号参照のこと。
  - 昭和61年4月4日 県医会長より。  
昭和61年度における老人保健（ヘルス）事業実施要領改正案及び国庫負担金等交付基準単価案の送付についての通知あり。
- 予算成立後これらが実施に移される段階で改

めて連絡すること。

- 昭和61年4月7日 県医会長より。  
会員及び家族、従業員の日曜1日人間ドックの実施についての通知あり。
- 日時 昭和61年5月11日(日)
- 昭和61年4月11日 県医会長より。  
昭和61年度岩手県医師会費日本医師会費の徴収方についての通知あり。
- 昭和61年4月12日 県医会長より。  
昭和61年度岩手県医師会費、日本医師会費免除及び減免申請についての通知あり、下記の如く5月7日申請書提出。

### 老令会員会費免除申請書

(満77才以上)

岩手郡医師会

都市別	A B C別	氏 名	満年令	生年月日	免 除 額	摘 要
					会 費	
岩手郡	A	小野寺 素 行	84才	M 34. 12. 11		
"	B	宇土沢 喜 一	80才	M 38. 6. 30		
"	A	小 原 富 雄	80才	M 39. 2. 20		
"	A	上 野 精 三	77才	M 42. 1. 25		

- 昭和61年4月12日 県医会長より。  
都市医師会福祉担当理事連絡協議会出席者の依頼についての通知あり。
- 日時 昭和61年4月26日 午後4時より  
坂井理事出席。
- 昭和61年4月12日 岩医厚生KKより、診療報酬明細書の一部改正に伴う明細書の販売についての通知あり。
- 昭和61年4月12日 県医会長より。  
病院における給食業務の一部委託についての

- 通知あり。
- これについては、いわて医報参照のこと。
- 昭和61年4月14日 県医会長より。  
岩手県医師会理事の職務分担についての通知あり。
- 昭和61年4月14日 県医会長より。  
昭和61年度社会貢献表彰候補者の推薦依頼についての通知あり。
- 昭和61年4月15日 県医会長より。  
生活保護法による医療扶助運営要領について

- 一部改正等についての通知あり。  
これについては、いわて医報参照のこと。  
○昭和61年4月15日 県医会長より。  
昭和61年度における老人保健（ヘルス）事業の国庫負担金等交付基準単価案の資料追加送付についての通知あり。  
○昭和61年4月16日 県医会長より。  
医療保険における結核の治療についての通知あり。  
これについては、いわて医報6月号参照のこと。  
○昭和61年4月16日 県医会長より。  
健康保険における診療報酬点数表等の改正に伴う労災診療費等の取扱いについての通知あり。  
これについては、いわて医報参照のこと。  
○昭和61年4月16日 県医会長より。  
新規格の血液製剤の薬価基準収載についての通知あり。
- これについては、いわて医報参考のこと。  
○昭和61年4月16日 県医会長より。  
支払基金における増減点連絡書式の一部改正についての通知あり。  
これについては、いわて医報6月号参照のこと。  
○昭和61年4月16日 県医会長より。  
第18回産業医学講習会についての通知あり。  
○昭和61年4月16日 県医会長より。  
第2回常任理事会開催についての通知あり。  
日時 昭和61年4月22日  
高橋(牧) 常任理事出席  
○昭和61年4月19日 県医会長より。  
共済組合員証の無効についての通知あり。  
記号及び番号 刑盛 58-0090  
組合員氏名 鈴木 確治  
○昭和61年4月19日 県医会長より。  
国鉄共済組合診療報酬請求書審査委員の委嘱

## 別紙

		所属医師会名	岩手郡医師会	
ふりがな 氏名	うえ の せい ぞう 上野 精三	生年月日	(明) 大昭 42年1月25日	
住 所	岩手郡雫石町第35地割万田渡48の3			年 令 77才
経歴	昭和7年3月 岩手医学専門学校卒業 昭和8年2月～20年8月 陸軍軍医として任務につく 昭和22年11月～29年3月 岩手郡医師会副会長 昭和29年4月～40年3月 岩手郡医師会理事 昭和39年4月～57年3月 岩手県医師会理事 昭和49年6月～61年3月 岩手郡医師会長			
該当条件 理 由	永年にわたり郡医師会、県医師会役員として医師会員の指導、医師会の発展に寄与された。又昭和21年より現在まで雫石町小・中学校の学校医として活躍、児童生徒の保健教育、健康管理に献身的に尽された。昭和24年より国保運営委員、教育委員として会発展に貢献された。			
検案医として約37年間尽された。尚この間社会活動、地域医療に尽された功績が認められ昭和15年4月勲六等単光旭章、昭和17年8月勲五等瑞宝章、昭和60年4月勲五等双光旭章を叙勲された。				

についての通知あり。

眼科 荒木田 定世

○昭和61年4月23日 県医会長より。

(財) 岩手県学校安全互助会に対する入院見舞金請求書証明料の取扱いについての通知あり。

4月28日 岩郡医第5号にて郡医師会会員に通知。

○昭和61年4月23日 県医会長より。

老人保健法による保健事業実施要領の一部改正についての通知あり。

○昭和61年4月23日 県医会長より。

第38回岩手県医師会総会における表彰会員の推薦方についての通知あり。

5月9日 前会長上野精三先生を推薦する。

前頁別紙参照。

○昭和61年4月24日 県医会長より。

各都市医師会生涯教育委員連絡会開催についての通知あり。

日時 昭和61年5月15日

上田靖彦副会長 出席

○昭和61年4月24日 県医会長より。

振动障害健診治療協力医療機関名簿の作成についての通知あり。

○昭和61年4月24日 県医会長より。

昭和61年度(第6回)岩手県臨床検査精度管

理調査について。

○昭和61年4月27日 県医会長より。

薬価基準一部改正等について。

健康保険法施行規則の一部改正する省令の施行について。

血液製剤の新規格単位の標準価格設定について。

健康保険診療報酬の一部改正に伴う公害診療報酬算定の取扱いについて。以上通知あり。これについては、いわて医報参照のこと。

○昭和61年4月29日 県医会長より。

産業保健研修会(工場見学)開催について、第27回産業医部会幹事会開催について、以上通知あり。

日時 5月24日 セイコー盛岡工場見学

西島康之先生、宮杜 亨先生出席。

幹事会 西島康之先生出席

○昭和61年⑨月30日 県医会長より。

昭和61年度岩手県医師会会員名簿提出依頼について。

はり、きゅうの施術に関する同意書の取扱いについて。

第18回産業医学講習会について。

以上通知あり。

これについて、いわて医報参照のこと。

## 岩手郡生涯教育委員

委員長 宮杜 亨

委員 高橋 司

副委員長 上田 靖彦

〃 瓜田 明義

委員 近藤 純造

〃 八角 正司

〃 高橋 牧之介

〃 高橋 孝

### 生涯教育の報告書提出について

日本医師会は生涯教育の制度化の試行開始にあたって、自己申請を本年6月から行なっております。毎月の自己申請を県医師会に提出願います。

## 昭和61年度第1回医事紛争対策委員会の報告

1. 日時 昭和61年4月26日

2. 協議

①委員長、副委員長の選任

②報告

本会議の詳細は本会の委員以外には通知せざる様にと定められあり。

従って余り詳細に亘らず会員各位がどうしても知つて居らなければならない事だけを記載する。

③自昭和43年12月～至昭和61年4月迄の県内会員の医事紛争

資料 I の通り

④判決の統計 自昭和58年～至昭和60年

資料 II の通り

⑤岩手県医師会員の医師賠償責任保険の加入状況（郡市医師会別）

資料 III の通り

⑥岩手郡医師会員の加入状況

岩手郡医師会員はその加入状況県下一にして会員の本保険に対する認識は良好なり。然れど未加入者2名あり。

法人組織 1名

個人開業医 1名

3. 会議に出席して思ふこと

医事紛争は最初米国に於て発生し（風聞する処によると弁護士の過多が原因？）その後日本に於ても発生を見るに至りたるものなり然し誰しも全く予期せざるに突然天から降つて来た様なものです。

私共医療に携さわるものと思はざる交通事故と同一です。青信号を通過中無暴なる無免許の酔っぱらい運転の車にはねられた様なのです。

そこで私共はA、B会員の何れとも加入して居る方が万全と思はれます。

又公務員或は法人組織の会員も何れ万一の際は使用主が負担されると思ひますが、加入して居ればそれだけ使用主の負担が少なくてすむということを御考慮いただきたいと思ひます。特に公務員並びに法人組織に勤務される会の方の御熟考を願います。

尚最近の訴訟によると医療機関のみならず担当医師個人が補償を請求せられて居るケースがみられますので、公務員並びに法人組織の機関に勤務されるB会員の方の一考を促したい次第です。

(記 上野)

### 資料 I

#### 県内 A 会員の医事紛争

(昭和43年12月～昭和61年4月)

係 争 中	最高裁 1	
	3 件	高 裁 0
		地 裁 2
判 決	1 件	勝 訴
法 廷 和 解	3 件	
示 談 解 決	47 件	
交 渉 中	1 件	
日 医 付 託 中	0 件	
消 滅	6 件	
計	61 件	

## 科別発生数

	件 数	死 亡
内 (小) 科	18 件	7
産 婦 人 科	19 件	4
外 科	11 件	4
整 形 外 科	5 件	0
耳 鼻 科	4 件	1
眼 科	1 件	0
皮 フ 科	1 件	0
麻 醉 管 理	2 件	2
計	61 件	18

資料Ⅱ 判決統計(日医資料)  
(S 58~60)

総数 158件 勝訴 91 敗訴 67

	計	勝訴	敗訴
診断処置に関する事例	43	23	20
新生児の診断処置	21	16	5
手 術	20	14	6
麻 醉	3	1	2
注 射	10	3	7
検 査	12	6	6
採 血, 輸 血	10	7	3
分 婦	17	10	7
救急医療交通事故	14	7	7
予 防 注 射	3	1	2
そ の 他	5	3	2

## 資料Ⅲ

岩手県医師会医師賠償責任保険加入状況(昭和61年4月1日現在)

	A会員	B会員	法 人	計	備 考 (A会員数)
盛 岡 市 医 師 会	170	7	13	190	( 199 )
岩 手 郡 医 師 会	33		5	38	( 37 )
紫 波 郡 医 師 会	28	1	6	35	( 43 )
花 卷 市 医 師 会	36		2	38	( 56 )
和 賀 医 師 会	33		1	34	( 47 )
水 沢 市 医 師 会	45	1	5	51	( 59 )
江 刺 市 医 師 会	9			9	( 14 )
一 関 市 医 師 会	28	2	2	32	( 48 )
東 磐 井 郡 医 師 会	17	1		18	( 21 )
氣 仙 医 師 会	31	3		34	( 40 )
釜 石 医 師 会	27	1		28	( 31 )
宮 古 医 師 会	34	2	1	37	( 41 )
遠 野 医 師 会	12			12	( 12 )
久 慈 医 師 会	11			11	( 17 )
二 戸 医 師 会	12			12	( 15 )
合 計	526	18	35	579	( 680 )

## 腹部超音波診断—特に肝・胆・脾について—

沼宮内病院内科（岩手医大第1内科）

田 沢 義 人

腹部超音波の経験例がまだ少なく未熟ですが、私なりの感想をいくつか述べたいと思います。

超音波画像は、まだまだ不鮮明で改良の必要があるし、誰にでもわかる画像になることが望ましいと思います。しかしながら、現在の超音波から得られる情報は莫大で、腹部臓器を無侵襲に操作できる大きな利点があります。最初に誰もがとっつきやすいのが胆嚢ですが、異常なしと言いくるには、なかなか度胸が要ります。

アーティファクトが多いため、胆石、胆砂と間違うことがあります。胆嚢に何かあると思ったら、必ず肋間走査と肋弓下走査の2方向で観察して確かめ、体位変換して移動するかどうかみるようにしています。ポリープは大抵2ヶ以上あるものです。胆嚢壁が不均一に厚い場合は要注意です。次に肝疾患ですが、やはりポイントは形態です。しかし肝臓の大きさや厚さの異常は個体差があり、正確な規準がないため、主観と熟練に頼るところが大きく、私自身も未だ

に慢性肝炎と肝硬変を明確に鑑別できないでいます。でも数多くの肝臓を走査すると、形態異常、門脈、肝静脈の描出不良などから、異常像がおのずとわかってきます。ここまでいくと、小肝癌をみつけるのも容易となります。今では1cm以下の大きさでもみつける自信がついてきました。しかし肝硬変の患者はやはり描出はむずかしいですが……。最後に脾疾患についてですが、機械の性能が良くなってきたので、大抵は、脾部だけでも描出できます。あきらめないで何回も挑戦することです。私は常に坐位で観察することにしています。脾管までみえれば立派なものです。

以上、肝胆脾の超音波法を述べましたが、この検査は被検者に左右されるところが大きく、超肥満体の方には、超音波が不向きであることは仕方がないことです。その場合、他の検査に頼らざるを得なくなります。

## H b M — I w a t e

岩手町 坂井 博毅

去る6月30日Methemoglobinemiaの研究の大家金沢大学医学部生化学教室米山教授が仙台と山形の学会の途中岩手町に立ち寄られた。

この機会に岩手町に関係深い黒血症HbM—Iwateについて御講義を拝聴した。突然であった為都合がつかず熊谷先生、佐々木先生、佐渡先生、坂井の少人数しか参加出来なかった事は残念でしたが久しぶりに本物をぜいたくに味

わった。別名田村—高橋病とも言われる本病は岩手医大の田村先生によって研究されたが、当初はHemの異常と考えられたが、その後の研究の結果、タンパク部分のアミノ酸組成の遠位ヒスチジンあるいは近位ヒスチジンのいずれか一方がチロジン置換して、ヘム鉄がフェノール性水酸基と結合し3価を維持するか、または、ヘム鉄と配置する可能性のあるアミノ酸置換が

生じ、不可逆性のメトヘモグロビンを形成するかして、酸素との結合を阻害するため黒色調のHbMを生ずる事が解明されました。従ってヘテロ型は予後は良いがホモ型は生存出来ないとの事でした。

メトヘモグロビン血症には 1) 中毒性メトヘモグロビン血症, 2) 遺伝性メトヘモグロビン還元酵素異常症, 3) ヘモグロビンM症の3種類が存在するが黒血症田村-高橋病は3)のヘモグロビンM症に属し、この中にHbM-IWate, HbM-Boston, HbM-Hydepark, HbM-Milwaukee 1などがある。

尚遺伝性メトヘモグロビン還元酵素異常症はアスコルビン酸またはメチレンブルーで症状が改善されるとの事ですが鑑別診断にはメトヘモグロビン還元酵素活性の測定が必要のようです。しかし遺伝性メトヘモグロビン還元酵素異常症は本町では未だ発見されていないとの事でした。

米山教授に感謝しつつ又の来町の際には郡医師会の先生方にも拝聴出来る機会を作りたいものだと考えております。

## 初代会長小野寺素行先生の叙勲を祝して

前会長 上野 精三

新制岩手郡医師会の生みの親であり且つ育ての親であり又初代会長であられる小野寺素行先生には長年に亘る地域医療に対する御功績により昭和61年4月29日に勳四等瑞宝章が授与せられました。先生のみならず奥様、三人の娘さん又多数のお孫さん達の御名誉な事でございますと共に岩手郡医師会員全員の名誉でございます。

ここに新制岩手郡医師会結成以来何かと御指導いただきました当時の会員故佐々木浩吉先生、故塚谷先生、故佐藤(尚)先生が既に他界せられ残った者は私一人丈となりました。

そこで私は生き残りの者として他界せられた方々を代表しここに御祝ひを申し上げる次第であります。

小野寺先生は明治34年12月12日九戸郡軽米町

の出身で当年84才です。昭和3年東北大学医学部を卒業なされ、一時期中央病院の前身盛岡病院に勤務せられました。当時盛岡市内に於ける若い独身の先生としては

盛岡病院 - 小野寺先生

岩手医專 - 故佐々木浩吉先生

" - 故工藤軍司先生(花巻)

" - 桜井文彦先生(現在水沢)

" - 宇土沢喜一先生

(現岩手郡医師会員)

以上先生方で当時の盛岡市としては珍しい若い独身の先生方でした。あとは全部開業の40才以上の方です。従って当時の若い盛岡の女性には大変もてはやされた訳です。今の医大の学生とはモテ方が一桁も二桁も異なった訳です。

当時私共医専の学生がカフェで飲んで居る上記の先生方が入って来られてよく御馳走して下さいました。

私達医専の学生もカフェで飲んで居て、そろそろ先生が来る時間だと心待ちしておごっていただくのを楽しみにして居りました。

先生は昭和20年沼宮内町に開業された後現在の好摩に転居開業なされました。

沼宮内の会長時代の会合はすべて自宅でなされ終了後奥様の御料理で夜半まで御馳走に預り後上路旅館に宿泊し翌早朝帰路についた訳です。

当時郡内各市町村は国保連の理事長故佐藤公一（県議会副議長）の指導で保健婦は医師と同等の資格があるとのすすめで競って診療所を造り始めました。保健婦が医師と全等の資格があると言ふ宣伝が後問題となり、各町村は診療所に若い先生方を雇用いたしましたが何れも長くて6ヶ月位でした。

従って郡医師会としては会費を納入する者はA会員4～5人位だけです。すべての費用は小野寺会長の自弁となり如何程会長先生並びに奥様並びに三人のお譲さん方に御迷惑をおかけしたか当时を知る唯一の生き残りの私としては誠に申し訳ない次第です。

会長を二代目会長故田口博先生に変られた後も県医理事或は県医代議員として私共を御指導

なされた御功績はまことに甚大なものがあります。この御功績があればこそ叙勲の御沙汰も当然と思はれます。

現在84才の御高齢にも係らず頗る御健康で御活躍なされておられます。正に実年否壯者をも凌ぐ状況です。

先生、奥様、三人の娘さん、数多くの御孫さん方、ほんとうに御目出とうございます。

心から御祝い申し上げます。

最後に先生の御趣味はゴルフと園芸です。

只趣味と申しませうか或は特技？と申しませうか先生には他人のまね出来ない特技中の特技があります。

これを御存じの会員は余りないと思はれますので御紹介申し上げます。

それは次の事です。

先生は如何程アルコールを召しあがられても10分間横になればすぐ醒めて、アルコール分が体外に発散して終わると云う特技がございます。

この特技こそ何時迄も御健康でおられる秘訣と私共の話題となつことがあります。

では先生何時迄も御達者で。

御祝ひの詞が色々な方面に脱線して申し訳ございません。

以上先生の思ひ出（まだ10年早い）を記し御祝ひの詞にかえさせていただきます。

## 親睦ゴルフ大会にこぞって参加を!!

第20回岩手県医師会親睦ゴルフ大会が岩手郡、二戸、久慈の三医師会合同で担当することになりました。名目上は三医師会の担当となっていますが、現実的には土谷先生を中心として当医師会が主体に開催されます。会員の多くの参加によって会を盛り上げて頂きたいと思います。

尚、日時、場所は下記の通りになっています。

申し込みは、土谷病院事務局あてになるべく早く申し込んで下さい。

日 時 昭和61年9月15日（月） 敬老の日

場 所 南部富士カントリークラブ（西根町大更）

## 第37回岩手県医師会野球大会始末記

盛岡市が当番の第37回岩手県医師会野球大会が昭和60年8月25日に開催された。

当日炎天下、午前8時20分太田橋付近のA球場に於て開会式並びに表彰式が行われた後、7会場に於て熱戦の火ぶたが切って落とされた。

我が岩手郡チームの対戦相手は盛岡医師会Aチームで我が軍もよく戦ったが第1回戦で惜しくも敗退した。

両軍の先発メンバーは

盛岡A		岩手郡		
1	三 今野	1	三 嶋 (西根)	
2	中 市川	2	遊 土谷 (〃)	
3	遊 富田	3	一 高橋 (司) (岩)	
4	二 鈴木	4	中 遠藤 (西根)	
5	左 沢村	5	投 岡田 (葛巻)	
6	投 斎木	6	二 佐藤 (〃)	
7	一 古川 (高次)	7	左 佐々木 (岩)	
8	捕 菊池 (市立)	8	捕 上原 (東石)	
9	右 及川 (〃)	9	右 宮沢 (〃)	

地

スコアは下記の如くである。

	1	2	3	4	計
盛岡 A	0	3	2	2	7
岩手郡	0	1	0	0	1

### 試合経過

1回表、我が軍のエース岡田、見事な立上りを見せ、先頭打者の今野には中前安打されたが後続を凡退させ、得点を許さず好調の滑り出しをみせた。その裏、我がチームの先頭打者好守好打の嶋が初球をいきなり左前にクリーンヒットしたが、後続が凡退し得点機を逸した。

2回表、エース岡田が力み過ぎて好球を揃えた為か連続2本の二塁打と、古川のホームランで計3点を先取された。2回裏、1死後、佐藤の打球が左中間にぐんぐん伸び、ホームランとなって1点を返したが後続続かず、結局これが我が軍唯一の得点となった。

3回表は四球、内野安打と斎木の二塁打で2点を失った。その裏、嶋が又もや右前に痛打を放ち、絶好の反撃期とみられたが期待の高橋、遠藤が不振で斎木の好投にかわされ得点出来ず。

4回表、代打安井の二塁打及び不運な2本の内野安打、当たっている斎木の左前打で2点を取られた。その裏、期待された好打順も斎木を打ち崩せず、3者凡退で時間切れとなり、盛岡Aチームに名を成さしめた。

敗者同士の試合も出来たが相手が戦意喪失しているために行わず、聚温泉ホテル大観の懇親会に臨んだ。

この試合を振り返ると敵の斎木投手の好投及び3打数3安打の好守に亘る活躍と、我がチームにあっては、嶋の2打数2安打10割のリードオフマンとしての活躍と、我がチームの唯一の得点となった佐藤のホームランが光彩を放っていた。次回の奮起を期待している次第である。

(監督:近藤記)

## 本番にそなえて 県医師会野球大会練習試合

例年行われる県医師会親睦野球大会の本年8月24日(日)（於花巻市）の本番に備えての適度な肩ならし、腕だめしを兼ねて、7月26日の土曜の昼さがり、好天気に恵まれて、盛岡市内薬卸連合軍との練習試合が滝沢村大釜の零石川河川敷球場において行われた。

予定していた我が軍のレギュラー選手が3名不足し、相手チームより助っ人として加入してもらっての試合であった。

### 結果：

	1	2	3	4	5	計
郡医師会	0	0	0	0	1	1
薬卸連合	1	0	0	0	2	3

### 郡医師会メンバー

(三) 嶋	(二) 佐藤(郁)
(遊) 西 島	(中) サンエス
(左) サンエス	(右) 高橋(牧)
(一) 高橋(司)	H右 篠 村
(投) 岡 田	(捕) サンエス

相手チームのトップバッター（投手）いきなりレフトオーバーの二塁打を放ち、これを足場に先取点をとられたものの、その後は我がチームのエース岡田（葛巻病院）の軟投に、相手チームは力にまかせて引っ張ったり、大振りが目立ち、試合は膠着状態となり、我がチームは5回3番の助っ人氏が左前適時打を打ち、四球をからませてようやく1点をとったが、それも東の間、疲れのみえた軟投岡田がつかまり、2点を追加され万事休した。

我が軍は三遊間のするどい当たりを好捕したり、守備面ではまあまあでも、打力はいまいちで仲々真シンに当たらぬ。

いざれにしろ、上位、下位打線で出塁し、長身巨漢の遠藤（西根病院）、高橋（沼宮内病院）で走者を還すパターンが理想ではあるが……。本番でこのパターンが出るか期待したいものだ。

（嶋 信記）

## 編集後記

突然訪れた真夏のうだるような暑さのなか嶋広報担当理事を迎えて第1支部の編集会議が行なわれた。“多くの会員の意見を掲載するにはどうしたら良いか”とか“定期的に継続して発行していくにはどうしたらよいか”と言った根本的な事が話題となった。ともかくこれまでの歴史と会報を発行して頂いた諸先生方の労苦に感謝しつつ、なんとか今後も継続していきたいと言う皆さんの意見に勇気づけられて“質”よりも“スピード”を重点に今回の郡医師会報は編集された。従って数々の過ちや独断と偏見の部分

が多い事と思う。医師会を取り巻く環境は厳しく、脳死の判定や男女生みわけなど医の倫理にかかる事、そして生涯教育が各方面で叫ばれている。これらの対応した記事、あるいは各町村で行なっている予防検診の集計や問題点などが今後重点的に取り上げられるべきかもしれないが今回はそれらに充分対応出来なかったのは残念である。

次回は第2支部の担当で会報が発行されますので学兄の御投稿を心からお願い致します。

（H・S）